

せんもうえこうもん 先亡回向文

「朝の勤めで」

ばさつしょうりよう つき ひつきようくう あそ
菩薩清涼の月は、畢竟空に遊ぶ、衆生

しんすいきよ ぼだい かげなか げん
心水清ければ、菩提の影中に現ず。仰ぎ

こいねが さんぼう ふ
冀わくは三宝、伏して照鑑を垂れ玉え。

じようらいしゆしやうぎぎやうじほうおん ふじゆ あつ ところ
上来修証義行持報恩を諷誦す、集むる所

くどく
の功德は、○○院○○○居士（あるいは

大姉）靈位、○○家門先亡累代精靈、

ろくしんけんどうしちせ ぶも うえんむえんさんがいばんれい
六親眷属七世の父母も、有縁無縁三界万靈

ほっかい がんじぎとう えこう こいねご ところ こうごう
法界の含識等に回向す。冀う所は、曠劫

むみよう とうげ しょうめつ しんくう みようち
の無明は、当下に消滅し、真空の妙智、

すなわ げんぜん え とん むじよう りよう
便ち現前することを得、頓に無上を了じ、

すみや ぶつか しょう
速かに仏果を証せんことを。

じーほーさんしーいーしーふー
十方三世一切仏

しーそんぶーさーもーこーさー
諸尊菩薩摩訶薩

もーこーほーじやーほーろーみー
摩訶般若波羅蜜